12/3 琉球

安保3文書改定反対集会

沖縄を二度と戦場にさせない

那覇

岸田政権が進める安保関連3文書改定と軍事費倍増に反対し、「血税をいのちとくらしへ」と訴える集会が1日、那覇市の県庁前広場でありました。沖縄県統一連が主催しました。

新垣繁信沖縄県統一連代表幹事は「戦争する国づくりへ堂々と憲法違反をしているのが岸田内閣だ。県民に知らせて立ち上がり、戦争する国づくりを沖縄から止めていこう」と呼びかけました。

集会で採択した決議は、安保3文書改定について「新たな戦争方針、戦争準備計画だ」と批判。「沖縄・日本を米国の対中戦略の盾に差し出す自公政権の対米従属ぶりには、主権者として、納税者として強い憤りを禁じ得ない」とし、安保3文書と来年度軍事予算に断固反対を表明しました。

参加者は、医療・介護など社会保障を改悪する一方、軍拡に進む岸田政権を批判。「外交努力に徹しろ」「戦費調達の増税は許さない」などと唱和しました。

日本共産党の島袋恵祐県議は「力対力のエスカレートでは平和的解決は決して望めない。有事になれば軍事基地が多く存在する沖縄が真っ先に標的にされる」と指摘。「悲惨な沖縄戦を経験した県民は『軍隊は住民を守らない』『戦争には正義も何もない』ことが心に刻み込まれている」と述べ、沖縄を再び戦場にさせてはならないと訴えました。

安保3文書改定と軍事費倍増に断固反対と訴える集会参加者＝1日、那覇市